

「信州幼児教育支援センター(仮)」の設置に向けた調査・研究事業 …学び続ける信州人の基盤となる幼児教育の充実…

教学指導課

1 趣旨

幼児教育を取り巻く世界的な議論の高まりや幼稚園教育要領・保育所保育指針等の同時改訂を踏まえ、全ての就学前児童に対する質の高い幼児教育のあり方を研究し、学び続ける信州人の基盤づくりを図る。

2 課題

(幼児教育をめぐる潮流)

- ・ユネスコ・OECD等が就学前教育の重要性と公費投入の必要性を提言
- ・ジェームズ・ヘックマン等の研究により、忍耐力や協調性、自尊心等社会情動的スキル(非認知的スキル)の重要性に注目
- ・幼稚園教育要領・保育所保育指針等が同時改訂(H30.4 施行)され、幼稚園・保育所等全ての施設が幼児教育を行う施設として位置づけ

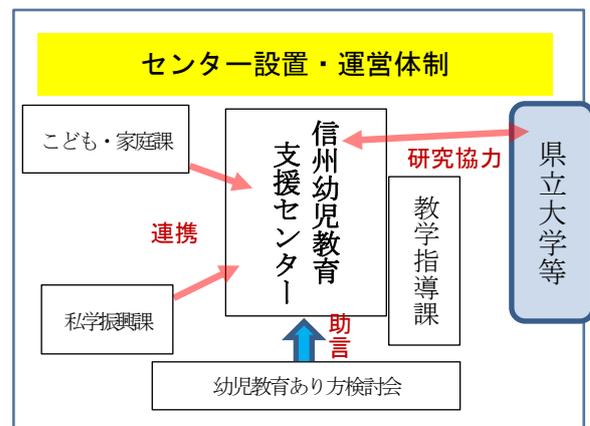
(課題)

- ・本県の全ての子どもたちに質の高い幼児教育を提供する方向性が示されていない。
- ・公立幼稚園、私立幼稚園及び保育所、認定こども園の所管が県民文化部及び教育委員会に分かれており、幼児教育充実のための体制が一元化されていない。

多様な関係機関を巻き込んだ
包括的な質向上のシステムの構築が必要

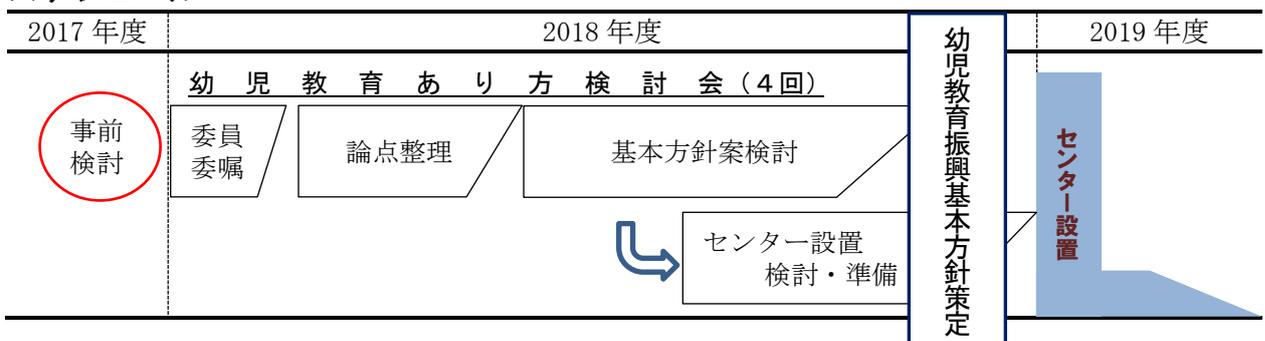
3 包括的な幼児教育の質向上にむけて

- (1) 長野県幼児教育振興基本方針の策定
長野県幼児教育あり方検討会において、質の高い幼児教育のあり方を検討
- (2) 幼児教育支援センター機能構築の検討
施策推進のためのプラットフォームの設置を検討
 - 業務の想定
 - ・幼児教育関係課、団体等の結節機能
 - ・幼児教育の質の向上に係る研究推進
 - ・研修の企画・運営
 - ・幼保小の接続推進 等



多様な関係機関と連携しながら1年間かけて検討

4 スケジュール



5 平成30年度予算額 89万6千円